

4

輪投げ

リングスロー

特徴 ターゲットの棒に向かいリングを投げ、棒にリングがかかる数や得点を競う競技。

人数 1人～制限なし

場所 屋内

輪で 話を 和に



貸出用具

5セット

セット内容

キャリーバッグ：
縦62cm×横62cm
×厚さ8cm



あと1枚 棒9本 足2本
リング9個

1つ135g

ルール

輪投げ

・単独投輪方式（大人数での個人戦などで得点による対戦）

1人が9本持ち、投輪ラインを踏まずに全部台に投げきり、ポール（棒）に入った数字の点数の合計が総得点。同じポールに複数のリングが入っても数字の得点のみ。縦、横、斜めに3つ並んで入ったときは、1列につき30点（プラス、列以外の得点）、9本すべての得点棒にリングが1本ずつ入ったときは、「上がり」（パーフェクト）と呼び特別に得点は300点になります。

・交互投輪方式（チーム戦などで勝ち負けによる対戦）

ジャンケンで先攻・後攻を決める。先攻は赤リング4本、後攻は黄リング4本を交互に投げる。ポール（棒）に入った数字の点数の合計が総得点。同じポールに複数のリングが入っても数字の得点のみ。縦、横、斜めに3つ並んで入ったときは、1列につき30点（プラス、列以外の得点）。この時点で、負けている方が最後のアンカーリング（青リング）を投げ、加算した得点で1ゲームの勝敗を決めます。ゲームを3セット行います。4本ずつ投げた時点で同点の場合や、アンカーリングを投げて同点の場合は引き分けで、次ゲームへ進みます。勝ちセット数の多い方の勝利ですが、3セット終了時で同セットの勝利数の場合は総得点の多い方の勝利。それも同点の場合は、引き分けとなります。

◎投法について

リングはどのように投げても構わないが、両足ともかかとを浮かさず、投げたリングが台もしくは床で静止するまで両足ともかかとを浮かしてはならない。先に投輪したリングが完全に静止してから次を投げる。投輪ラインの後方から投げ、リングが手から離れ台に落ちるまでラインを踏んだり、越えたりしてはならない。

